

3類型	農林水産物	通巻番号	2 - 19 - 003
地域資源名	ワカメ、アカモク	認定日	平成19年10月12日
地域	岩手県釜石市ほか	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名： 海藻脂質(フコキサンチン)による抗肥満作用を有する機能性食品の開発

会社名： 協同組合マリンテック釜石

所在地： 岩手県釜石市平田3 - 75 - 5

連絡先： TEL:0193-36-1200 FAX:0193-36-1205

事業概要(新たな活用の視点)

・岩手県の三陸釜石は、親潮・黒潮・津軽暖流の3つの海流が交錯する屈指の漁場として海の恵みが豊富である。一方、ワカメの加工残渣などの未利用海産資源が年間4,000t以上あると言われており、この高付加価値化が重要な課題となっている。

・釜石市では、2004年8月に「かまいしエコタウンプラン」が国の承認を受けるなど、資源循環型社会に対応した産業育成に力が入れている。そのような中で、当組合では、ワカメから多糖類タンパクを分解しその残渣からフコキサンチンというメタボリックシンドローム解消に効果がある油脂を北海道大学と共同で解明し、それを活かして機能性食品を開発することとした。



【釜石産ワカメ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

・フコキサンチンは内臓脂肪の余分な脂肪エネルギーを熱に変換し、内臓脂肪を減少させるという作用機構を持っており、日本初となるこの成分の高機能性食品としての商品化を目指す。

・ワカメの加工残渣やアカモクに含まれるフコキサンチンは、内臓脂肪組織中に脂肪酸を熱へと変換する働きを持つ成分を発現させることから、効果的に脂肪を分解することができるため、これまでの健康食品成分と比較して効果的な肥満防止が期待できる。



【機能性食品素材】

市場性

・生活習慣病の増加は、今や社会問題にもなっており、生活習慣病対策の健康食品及び特定保健用食品の市場はそれぞれ6,000億円を超え、今後も拡大傾向が続くと予測される。

販路

・当初は国内生活習慣病市場を開拓し、3年後には本事業で2,500万円以上の売上げを目指す。将来的には特定保健用食品の認定を受け、信頼性とイメージの向上を図りながら欧米諸国市場へも拡げる。

地域資源における関係事業者との連携

・ワカメ加工残渣の安定的な確保及び活用は地域の漁業者・事業者・行政と連携して進め、ゼロエミッションの実現を目指す。

・研究開発は、北海道大学及び岩手県水産技術センターと連携して進め、新商品開発を図る。